

高齢者生活実態調査の結果をお知らせします

高齢者保健福祉計画および第6期介護保険事業計画を策定するため、高齢者の生活実態や介護サービスの利用に対する実情や意向を調査しました。

この調査結果のうち、一部を抜粋してお知らせします。詳しい調査結果は、介護高齢課や各支所地域振興課で閲覧できます。また、市ホームページでも見ることができます。

なお、計画(案)について1月中旬にパブリックコメント(意見募集)を実施する予定です。

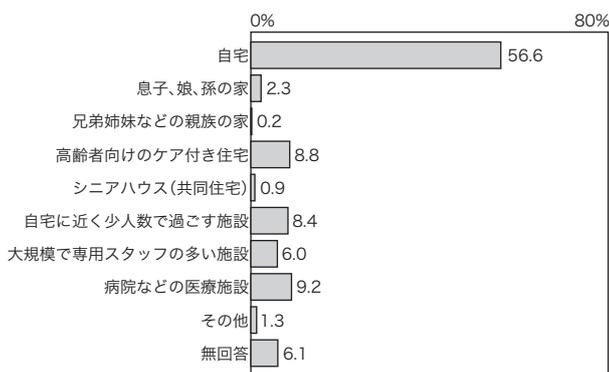
調査の概要

- 調査期間 平成25年12月2日～12月20日
- 調査対象 平成26年3月31日、満65才以上で在宅の人(20,788人)
- 調査方法 郵送による配布、回収
- 回収数 17,414人
- 回収率 83.8%
- 調査内容 (1)家族や生活の状況について (2)運動・閉じこもりについて など

介護について

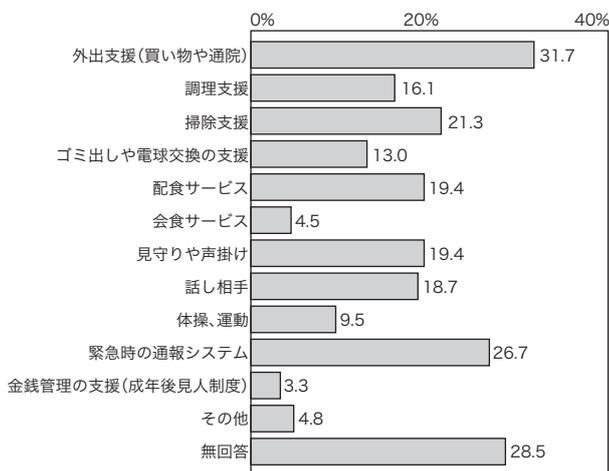
●将来、仮に介護が必要となった時、どこで暮らしたいと思いますか

◎半数以上の人、介護が必要になっても自宅で暮らしたいと思っています。



●在宅生活を続ける上で、現在もしくは今後利用したいと感じる介護保険以外のサービス、取り組みはなんですか

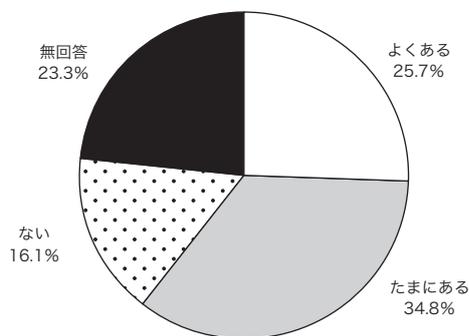
◎介護保険以外に必要なサービスや取り組みについては、買い物や通院の際の外出支援が最も多く、次いで、緊急時の通報システムとなっています。



ご家族や生活状況について

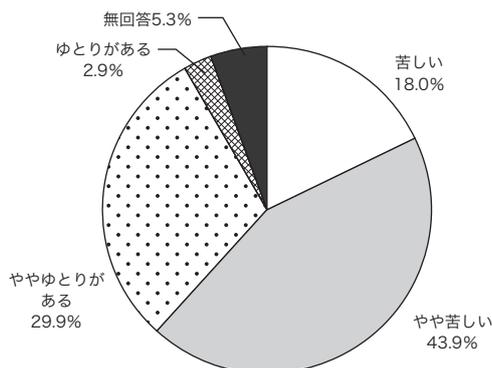
●日中、一人になることがありますか

◎日中、一人になることが「よくある」「たまにある」を合わせると60%を超えている現状です。



●現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

◎経済的に苦しいと感じている人も「苦しい」「やや苦しい」を合わせると60%を超えています。



●問い合わせ
介護高齢課介護保険室
☎ 53-2111 (内線361)